

平成 24 年度 地域の“まちづくりびと”養成講座
仲間づくりでまちづくり も～やっこ DE み～っけ♪

第 6 回 「まちの夢を伝えよう」
～ プレゼンテーション まちへの気持ちをも～やっこ ～

日時：平成 24 年 12 月 15 日（土）

場所：善光寺別院 願王寺

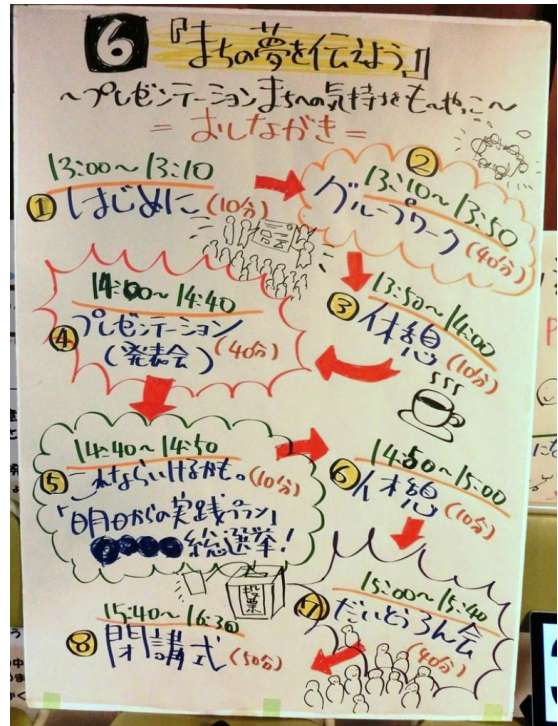
時間：13 時 00 分～16 時 30 分（講座）

16 時 45 分～17 時 45 分（懇親会）

9 月末から始まった講座「仲間づくりでまちづくり も～やっこ DE み～っけ♪」もいよいよ最終回です。

本日のプレゼンテーション（発表会）は、実際にまちを歩いたり、様々なまちのデータを調べたり、地域の人たちから話を聴いたりしたことから、まちの現状を認識し、それを踏まえ、4 つのグループごとに中小田井地区のまちの将来像を描き、そのための「はじめの一歩」としての行動（プロジェクト）を発表します。

講座は 13 時開講ですが、12 時頃から集まっているグループもあり、プレゼンテーションの準備やリハーサルを行っていました。



13:00～13:10 はじめに



ほとんど受講生は既にそろって作業をしていましたが、講座としてスタートです。配布資料と今日のスケジュールを確認しました。

14 時からの発表会は、時間厳守であること、会場のレイアウト変更を行うため、13 時 50 分までには、グループの作業を終えること、使ったものの片づけもお願いしました。

引き続き、発表に向けた仕上げの作業を行ってもらいました。

13:10～13:50 グループワーク

プレゼンテーションに向けてのグループワークは、「まちへの仕掛け提案～明日に向かってできること～」を描いていきます。

講座を通して、得られた気づき・発見などから、中小田井のまちでできること、みんなに伝えたいことをまとめます。

プレゼンテーションの方法は、紙芝居や寸劇、歌など自由ですが、「まちづくり提案の内容を、見た人に理解してもらえるように!」、「自分たちの思いに共感してもらえるか」、「一緒にアクションしてくれる仲間が増えるか」といった視点も重要です。

各グループそれぞれに熱の入ったリハーサルを行っていて、中には、部屋にこもり、「覗くな!」という雰囲気ของกลุ่มもありました。

いよいよ、休憩をはさんで、6回連続講座の集大成である「プレゼンテーション」の時間が近づいてきました。



14:00～14:40 プレゼンテーション（発表会）



見学者(ゲスト)は、西区役所より山田区長、太田区民生活部長、地元より寺澤さん、山本さん、坂さん、中野さん、会場を快く貸していただいた願王寺住職の櫻井さん、中村土木事務所の坂井さん、名古屋都市センターより青木事業部長、常包企画課長と多くの方々にお越しいただきました。

見学者及び受講生・スタッフが見守る中、4つのグループが順に「明日に向かってできること」を描いたプレゼンテーションが行われました。発表は、1グループ5分以内です。タイムキーパーがベルとボードを掲げて知らせます。

また、発表終了後、言い忘れたことや一押しポイントなど自由に発言できる「ひとことPRタイム」(30秒間)を設けました。

その後で、ゲストに感想をお聴きしました。

グループ名	中小田井を知り隊
プロジェクト名	アンケートで興味をくすぐる じわじわ大作戦

グループ名	イベント班
プロジェクト名	わらしべ長者

グループ名	Caféさんぽ
プロジェクト名	みんなのべんりベンチづくり プロジェクト

グループ名	まもってあげ隊
プロジェクト名	岩倉街道を守る会の設立

14:40～14:50 これならいけるかも。「明日からの実践プラン決めちゃおう」総選挙！



各グループの発表をきいて、「このプランできたらいいな」「これなら楽しく続けられるかも」という視点で、よいと思ったプランに受講生、ゲスト、スタッフも含めて全員で投票しました。

投票用紙の2グループに○をつけて投票箱に入れてもらいます。

集計の間は、休憩です。集計作業は、太田部長立ち合いのもと西区役所チームで行いました。（翌日は本当の選挙でした）

15:00～15:40 「明日からの実践プラン」だいどうろんかい！



次のプログラムは、グループに関係なく、全員が車座になって座りました。

まず、先ほどの投票結果が、発表されました。

第1位は、Caféさんぽ、続いてイベント班、まもってあげ隊、中小田井を知り隊の順となりましたが、僅差であったとの報告でした。

（ちなみに投票率は、100%とのことでした。）

続いて、1番人気となった「みんなのべんりベンチづくり プロジェクト」について、これまではグループで考えてきたまちづくりプランをより良いものにしていくため、受講生、スタッフみんなで話し合いを行いました。司会は、“まちづくりびと”の河合さんに進めてもらいました。

話の流れは、“まちづくりびと”の鈴木さん、三田さん、千葉さんが模造紙に記録していきました。（ファシリテーション・グラフィック）

Caféさんぽのメンバーの中で、もっとみんなの意見を集めたいという意気込みのある人を募ったところ、「かけちゃん」こと寛さんにマイクを譲ることになりました。

ベンチづくりのプランがなぜ出てきたのかというと、みんなで集まる場所が欲しい。それは、カフェではないか。まちにできるといい。では、最初に出来る一步は何だろう、まちの中で一休みできる場所、そのアイデアの1つがベンチだったということです。

その後、参加者の間で間伐材は使えるのか、安全な場所を提供してもらいたいなどの発言があり、櫻井住職からも協力するという心強い言葉がありました。

また、イベント班の「どんぴ」こと千田さんがマイクを引き継ぐなど、受講生や地元の方々も含め、色々なやり取りができ、有意義な時間となりました。

最後に講師の加藤武志さんから、まちづくりの提案は、地域に対して、「いいことだから」と押しつけるのではなく、相手をその気にさせるような提案でなければいけない、地域に対するおもいやりが必要だなどのお話がありました。

これならいけるかも。
「明日からの実践プラン決めちゃおう」総選挙！

投票結果			
4	2	1	3
中小田井を 知り隊	イベント班	Caféさんぽ	まもってあげ隊





15:40～16:30 閉講式

最初に主催者から講評を行いました。
まず、山田 西区長にお願いしました。



この度は「地域のまちづくりびと養成講座」に、たくさんご参加いただき本当にありがとうございました。

講座のタイトルにもあるとおり、西区は「みんなでも～やっこ」をキーワードに区政のいろいろな仕事に取り組んでいます。

苦しいことも、楽しいことも、みんなで持ち寄って分け合ってがんばっていこう、そんな思いを「みんなでも～やっこ」という言葉に込めています。

今日の皆さんの発表を聞かせて頂いて、わずか 6 回の短い講座の中で和気あいあいとすごく自由に発言をされる雰囲気を作られて、だからこそ、いいアイデアがいっぱいでてきたのかなと感じました。

この中小田井地区は、古い地域が残り、盆踊りや秋祭りを一生懸命やる大変元気のある地域だなと思っていますが、残念なことに 2000 年に水害で、とても大きな被害を受けまして、その経験から、やはり地域は繋がらないといけないなと自治会の皆さん、民生委員の皆さんががんばっていただいている地域かなと思います。

私が区長として仕事をしてきて思うことは、まちづくりというのは、まず住んでいる人がこのまちは本当にすごいんだと自慢できる事が、まちづくりの原点だと感じるようになりました。

外からまちづくりを支えていただいている皆さんにとっては、本当に新鮮な目で地域を見ていただくので、大変ありがたいと思うのですが、そこに住んでいらっしゃる方はずっとそこに住み続けられるので、そういう人たちの思いを大事にして、外からの目と内に住んでいる人たちの思いが1つになると、素晴らしいまちができていくのではないかなと思いました。

今回の発表は、身近な題材で、すぐにでも取り組めるようなことをご提案いただいたと思います。小道具も短い期間で本当に上手に作られたなと思います。

中でも「住んでいる人が誇れるまち」という、このキーワードにとっても感動いたしました。そういうところを大事にして、これからもいろいろなまちを見つめていって頂きたいですし、支えていって頂きたいと思います。

皆さんもこの講座が終わりましたら、ぜひ「まちづくりびと」に登録していただいて、名古屋のまち、いろいろな所でいろいろな魅力が詰まっても知らない人が多い、そんな所が多いかなと思いますので、この講座がきっかけでお会いになった皆さんと一緒に、名古屋のまちがこれからも長く存続できるように、共にがんばっていきたくなと思いました。

連続講座お疲れ様でした。いいアイデアをありがとうございました。

続いて、青木 名古屋都市センター事業部長にお願いしました。

まず始めに、この場所を会場として提供していただいた願王寺さんに感謝申し上げます。非常に雰囲気の良い講座になりまして、人と人が膝を突き合わせると話しやすいという情景ができ、大変ありがたく思っております。また、今日は地元の委員長はじめ、いろいろな方にお越しいただき、大変ありがとうございました。

今日、4つの提案が出ていたのですが、まちづくりをするには、まず士気。地元の皆さんが集り、会が必要なので「まもる会」を設立する。次に住民の方のニーズを掴むためのアンケートをして、その後、ソフトとハードの事業をやろう、という流れになるかと思います。

この講座で初対面の皆さんが出会い、そこで自分が思っていることを、お互いを尊重しながら、意見を出し合いまとめていく。これは、非常にまちづくりにとっても大事だけれど難しいところですが、皆さん、ここで学んでいただけたのではと思います。

「まちづくりびと」として協力していただいて、どのように活躍していただくかは、私どもが、活躍する場を用意しなければいけないと思いますが、名古屋市のいろいろな地域のまちづくり、都市計画の分野でいうと地域まちづくりですが、市役所、都市計画の上からこういうまちづくりをしようという形のまちづくりではなく、住民の皆さんが自ら提案して、こういう都市計画をやっという、こういう地区を作っというとする提案型のまちづくりをこれからは進めていきたいと思っております。そんなところで皆さんが活躍をしていただけたらと思っております。



続いて、修了証を受講生一人一人に青木事業部長より授与しました。そして会場の皆さんの前であらかじめ記入しておいた「まちづくりびと宣言」カードを発表してもらいました。

講座の第1回目のチェックインとして発表した「希望の葉っぱ」と同じように模造紙に貼っていきました。

みなさん、少し照れたようなうれしいような表情ですが、力強く「まちづくりびと宣言」を行いました。



次に、講師の加藤さんより、講座全体をふりかえり、講評していただきました。

お疲れ様でした。6回、全部参加された方、途中抜けられた方と
いろいろですが、こうやって最終回に皆で、顔を合わせて笑顔で発表ができて、少し前向きな宣言をしてお別れできるのは、とてもうれしいことだなと思っています。

僕自身、この講座に関わるのは2年目で、本当に今年で最後にしようと思心に決めて関わっていました。去年は第1回から第7回まで全てファシリテーションをやらせていただいて、今年はもう「まちづくりびと」のみなさんに代わってもらおうと思っていて、来年、僕がいなくなっても講座がまわる様
にと思って進めてきました。今年はまた昨年とは違ってすごくいい講座になったかなと感じています。

僕は心に決めていることがいくつかあり、その一つは、「人を信じてみる。任せてみる。」ということ。自分ではできることは、ついやってしまいがちになるのですが、ちょっと委ねてみたり、他の人に任せてみたり、お願いしてみると自分とは違う結果になるかもしれないですが、そのことが新しい芽を生んだり、新しい広がりを生んだりすることを、たくさん感じているので、なるべく自分が得たものを、なるべくいろいろな人にシェアして、発表の中にわらしべ長者の本の話がありましたが、だんだんと小さな種が先に繋がっていくと・・・実はすごく小さな種かもしれないですが、そのことから未来って少しずつ変わるのかなと信じて、僕はこういう仕事をしています。

一番大事なのは「人」。人が一番大事ですが、人だけでは進まないで「対話」。話をしたり、直接、目と目を見つめて会話をしたり、ここでもコミュニケーションはいくつかありましたよね。アイスブレイクから始まって、「見る・聴く・話す」。

最初は「何でこんなまどろっこしいことやるんだ」というアンケート結果もありました。「すぐに取り組みたい、まちづくりのことを学びたいのに」と・・・でも今日は何故それらをやったのか感じて頂けたのではないかなと思います。



もう1つまちづくりの現場で心がけていることは、「クリエイティブ」。

決まったフォーマットのあるボードを使って、上手に発表する、またはパワーポイントを使って発表するという事は、会社、市役所の中でも日常的に行なわれていることだと思いますが、今日は寸劇あり、紙芝居あり、体を張ってベンチになった方もいました。一見、ばかばかしいかもしれませんが、「訴えかける」ために、自分たちがパフォーマンスを生み出すとか、同じシートやすごろくを作るのでも、少し他とは違ったものにしてみようとすることが、実は自分たち自身も「クリエイティブ」にしているし、見ている人たちに伝わるものも、絶対に大きなものになると信じています。

クリエイティブな要素で何が面白いかというと、予期せぬことが起こる。

先ほどの大討論会でのマイクの渡し方もシナリオにない事ですが、バトンを次々に渡すことで、次々に連鎖が生まれ、ベンチの話も実際に進むのかな・・・と客観的に見ていたのですが、「ちょっとやってみようよ」と、ベンチだけではなく、いろいろなことを繋げてやってみようという芽が生まれてきたことは、すごくいい種がこの講座から出てきたのかなと感じています。

もちろん、他の提案のどれもが実現可能ではないかなと思いますので、大それたことでなくていいので、ちっちゃな種が広がっていくといいなと思っています。

(最後に加藤さんによるお楽しみ♪)

昨年は最後にまとめの言葉を書き取って、模造紙に大きく書いてごろ合わせをして、後を結んだのですが、今日は即興で歌を歌います。

ということで、『講座最終回のうた (original 即興演奏)』を歌っていただきました。講師が歌ったのは、初めてのケースかもしれません。



この講座で体験したことをきっかけとして、受講生の皆さんが“まちづくりびと”として自分の住むまちに関心を持ち、「も～やっこ」の気持ちで「仲間づくりでまちづくり」に主体的に取り組んでいただくことを期待します。



中小田井を知り隊



イベント班





Café さんぽ



まもってあげ隊

最後に記念撮影をして、講座は終了しましたが、引き続き、会費制で懇親会を行いました。

第1部として、中小田井が誇るチェリスト 水谷 幸恵（みずたに さちえ）さんをお招きし、チェロの生演奏を聴かせていただきました。水谷さんは、中小田井出身、在住で善光寺別院幼稚園、中小田井小学校、山田中学校とすすみ、愛知県立芸術大学卒業後、オーケストラやソロでご活躍です。ちなみに受講生のやぎちゃんの幼なじみとのことです。バッハ作曲 無伴奏チェロ組曲 第1番 クーラント、第2番 プレリュードの2曲を披露していただきました。

明光閣の2階は天井も高く、古民家で聴くチェロの音色に、みなさん落ち着いた気持ちになりました。

再び、1階に戻り、“まちづくりびと”の鈴木さんと三田さんの司会で第2部を始めました。ワールドカフェ方式で講座を振り返ったり、今後の活動に向けた話し合いをしたりして、懇親を深めました。

9月下旬からの6回連続講座もこれで終了です。みなさん、お疲れ様でした。



＊ ＊ アンケートより、講座全体を通じたご意見・ご感想など ＊ ＊

- ・ 6回、どの回も楽しく学ぶことができました。どうもありがとうございました。
- ・ 皆さん、工夫された発表で楽しかったです。自分自身、発表を楽しくさせていただきました。遊びながら進めていたようでしたが、グループの考えがまとまっていって楽しみながら学ぶことができました。今回の講座の成果がどこかで発揮されることを祈っています。
- ・ たまに欠席もあり 100%ではありませんでしたが・・・この中小田井地区が、これ以上は古い建物が無くならないようになれば良い！！と願います。星神社に“切り株”があったので願王寺“ベンチ”にするのも良いかも？！ココで・・・何か、イベントやりたいです。
- ・ 一緒にやった人たちとこんなに楽しくできると思いませんでした。人の意見を否定しないという大切なことも学ばせて頂きました。ありがとうございました。
- ・ スタッフの皆さま、大変ご苦勞様。ありがとうございます大変勉強になりました。機会があれば手伝いに参加します。
- ・ 最後 2 回の参加でしたが、楽しく参加できました。参加された方も楽しそうでおもしろい提案も出て仲間づくりの目的も果たせたのかと思います。良かったです。
- ・ スタッフの方々お疲れ様でした。感謝いたします。アドレス登録しますので情報を待っています。
- ・ 講座の間は本当にお世話になりました。幅広い世代と多様な職域の方々との共有する時間は様々な視点や考えを私に与えて下さったと感じています。来年は行動も大切ですね。どうもありがとうございました。
- ・ 回を重ねるごとに楽しく最後は先生の歌、演奏と素敵な時間を過ごせました。どうもありがとうございました。
- ・ 楽しく学ばせて頂きました。
- ・ 皆さまお疲れ様。楽しく過ごしました。勉強することは楽しい。また次の会も参加出来たら良いですね。見る目、考える目をもっと広げたいと思います。
- ・ 6 回のうち 4 回しか出ていませんが楽しい講座で、ありがとうございました。
- ・ 本当に楽しいワークショップでした。ベンチづくり頑張ります。
- ・ 地域まちづくりびとの今回の講座、1 回目・2 回目の頃は「何ができるのだろう？」参加すれば楽しいけれども、何が残るのかと思っていましたが色々な意見の人たちと話をして 6 回目に提案という事ができて、達成感がありました。ただ、まだ本当にはじめの一步なので今後のかかわりが必要かな？
- ・ ほんとうに、みなさんと同じ時間を共有できて楽しかったです。スタッフの皆さん（まちづくりびとさん、都市センターさん、西区役所さん、願王寺さん）といっしょにつくりあげていく講座になりましたねー。ただただ感謝です。心からありがとう！！